

# 上鵜飼の沢砂防堰堤が完成しました！

盛岡広域振興局土木部

上鵜飼の沢は、一級河川北上川水系支川諸葛川の土石流が発生するおそれのある溪流として、平成31年に土砂災害防止法に基づき土砂災害警戒区域に指定しました。

岩手県では、保全対象となる人家137戸、滝沢市浄水場、市道等への土石流被害を軽減させることを目的として、砂防事業を進めてきました。

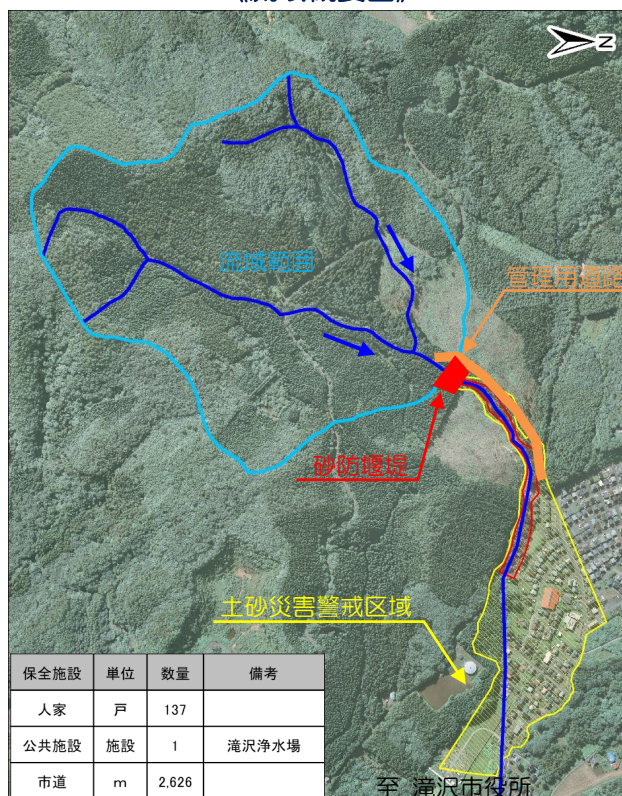
事業は、令和2年度に開始し、令和5年度に砂防堰堤の工事に着手、**令和7年9月に工事が完成**しました。工事期間中には、ソフト施策の取組として小・中学生や地域住民を対象とした防災学習や完成見学会などを開催しました。

今後も、防災学習や災害関連情報の発信などを通じて、地域の防災力向上につながる取組を進めていきます。

《位置図》



《流域概要図》



《堰堤概要》

堤長 74.0m  
堤高 10.0m  
施設効果量 4,990m<sup>3</sup>  
透過型砂防堰堤  
砂防ソイルセメント構造

《堰堤完成状況》





## 防災学習について

砂防施設の役割や土砂災害に対する備えについての理解を深めることを目的とした、**砂防出前講座や現場見学会を開催**しました。

滝沢市立鵜飼小学校において実施した砂防出前講座では、実際の被災写真や土石流の模型実験装置などを活用し、土砂災害の仕組みや前兆現象について学習しました。



▲現場見学（滝沢市立鵜飼小学校）



▲土石流模型実験



▲現場見学（盛岡市立下小路中学校）



▲現場見学（盛岡市立見前中学校）

## 完成見学会について

上鵜飼の沢砂防堰堤の完成にあわせて、地域住民に工事の成果を報告するため、**完成見学会を開催**しました。

完成見学会には、滝沢市、地元市議会議員、地域住民の方々が参加し、盛岡広域振興局土木部戸来部長及び滝沢市武田市長の挨拶後、事業報告と現場見学を行いました。



▲現場見学の様子



▲上鵜飼の沢砂防堰堤をバックに記念撮影